

地 球 温 暖 化 対 策 実 施 状 況 報 告 書

令和 7 年 7 月 25 日

香川県知事 殿

報告者

住所 高松市香西南町455-1

氏名 アオイ電子株式会社

代表取締役社長

木下 和洋

香川県生活環境の保全に関する条例第94条第5項の規定により、地球温暖化対策計画に記載した事項の実施状況について、次のとおり報告します。

事業者の主たる業種	28 電子部品・デバイス・電子回路製造業
事業者の種類	☒ 香川県生活環境の保全に関する条例施行規則第64条第1号に該当する事業者 ☐ 香川県生活環境の保全に関する条例施行規則第64条第2号に該当する事業者
事業の概要	主に、電子部品の製造を行っており、県内に3事業場の生産拠点を有する。
事業所の名称及び所在地	別紙1のとおり
地球温暖化対策計画に記載した事項の実施状況	様式2のとおり
実施状況の公表予定年月日	令和 7 年 7 月 31 日
実施状況の公表の方法	インターネットの利用により公表する。 公表場所：弊社ホームページ
連絡先	担当部署 管理本部 担当者 電話番号 087-882-1131 FAX番号 087-881-5575 電子メールアドレス

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とすること。

事業所の名称及び所在地

No.	名称	所在地	種類
① 第一種エネルギー管理指定工場等及び第二種エネルギー管理指定工場等			
1	本社・高松工場	高松市香西南町 4 5 5 - 1	第一種
2	観音寺工場	観音寺市吉岡町 2 6 2	第一種
3			
4			
5			
6			
② その他の事業所			
7	朝日町事業所	高松市朝日町 3 - 5 - 1 4	
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			
33			
34			
35			
36			
37			
38			
39			
40			
41			
42			
43			
44			
45			
46			
47			
48			
49			
50			

地球温暖化対策計画に記載した事項の実施状況

実施期間		令和 6 年度						
温室効果ガスの排出の抑制等のために実施した措置の内容		1. 空気圧縮機の更新時に高効率機種を導入 2. 照明設備のLED化 3. 工場生産設備の待機電力の削減 4. 圧縮空気の損失低減のための巡視・改修を実施						
温室効果ガスの排出の抑制の量の削減実績	温室効果ガスの吸収等	区 分			実施年度（令和 6 年度）			
					二酸化炭素換算(t)			
		☐ 森林の整備等			t-CO ₂			
		☐ 経済的手法の活用			t-CO ₂			
		グリーン電力証書の購入			t-CO ₂			
	温室効果ガスの排出の抑制	グリーン熱証書の購入			t-CO ₂			
		オフセット・クレジットの購入			t-CO ₂			
		国内クレジットの購入			t-CO ₂			
		J-クレジットの購入			t-CO ₂			
		非化石証書の購入			t-CO ₂			
	合 計			① t-CO ₂				
	排出量等の増減理由	区 分	基準年度 (令和 4 年度)	目標年度 (令和 7 年度)	対基準 年度比 (%)	実施年度 (令和 6 年度)	対基準 年度比 (%)	
		温室効果ガス 排出量	(二酸化炭素換算(t))② 37,565 t-CO ₂	(二酸化炭素換算(t)) 40,000 t-CO ₂	106.5	(二酸化炭素換算(t))③ 33,036 t-CO ₂	87.9	
		☐ 差引排出量 A	(二酸化炭素換算(t))② 37,565 t-CO ₂	(二酸化炭素換算(t)) 40,000 t-CO ₂	106.5	(二酸化炭素換算(t))③-① 33,036 t-CO ₂	87.9	
		☒ 原単位排出量 A/B	t-CO ₂ /百万個	t-CO ₂ /百万個		t-CO ₂ /百万個		
		温室効果ガス排 出量と密接な関 係を持つ値 B	百万個 (生産数量)	百万個 (生産数量)		百万個 (生産数量)		
特記事項		上記の取組み以外に地球温暖化防止のため、以下の取組みを実施予定 ・太陽光発電をはじめ、自然エネルギー導入の調査活動を継続						

(注)

1 「基準年度」欄及び「目標年度」欄には、地球温暖化対策計画書（当該計画書を変更した場合にあっては、変更後の地球温暖化対策計画書）に記入した数値を転記すること。

2 「温室効果ガスの吸収等」欄については、これらの措置を実施したときは該当する□にレ印を記入し、「二酸化炭素換算(t)」欄に値を記入すること。

3 「増減理由」欄については、実施年度の数値が基準年度の数値よりも増加・減少した理由（計画期間の最終年度に係る報告にあっては、削減目標が達成できた・達成できなかった理由を含む。）を記入すること。

4 「特記事項」欄には、「温室効果ガスの排出の抑制等のために実施した措置の内容」欄に記入したもののほかに、地球温暖化の防止のために取り組んだこと等を記入すること。

【別表 6】

(令和 6 年度)

事業所名 アオイ電子株式会社 本社・高松工場

エネルギーの種類		エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			H=E-G (GJ)	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	
		数値 D	単位	熱量(GJ) E=D×C	数値 F	単位	熱量(GJ) G=F×C			
化石燃料	原油（コンデンセートを除く）		kL			kL				
	原油のうちコンデンセート(NGL)		kL			kL				
	揮発油（ガソリン）		kL			kL				
	ナフサ		kL			kL				
	ジェット燃料		kL			kL				
	灯油		kL			kL				
	軽油		kL			kL				
	A重油		kL			kL				
	B・C重油		kL			kL				
	石油アスファルト		t			t				
	石油コークス		t			t				
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)	1.6026	t	80		t		80	4.8
		石油系炭化水素ガス		千m ³			千m ³			
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t			t			
		その他可燃性天然ガス		千m ³			千m ³			
	石炭	輸入原料炭		t			t			
		コークス用原料炭		t			t			
		吹込用原料炭		t			t			
		輸入一般炭		t			t			
		国産一般炭		t			t			
		輸入無煙炭		t			t			
	石炭コークス		t			t				
	コールタール		t			t				
	コークス炉ガス		千m ³			千m ³				
	高炉ガス		千m ³			千m ³				
	発電用高炉ガス		千m ³			千m ³				
転炉ガス		千m ³			千m ³					
その他の燃料										
小計 ①									4.8	
		エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			H=D-F (千m ³)	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	
		数値 D	単位		数値 F	単位				
都市ガス			千m ³			千m ³				
小計 ②										
		エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			H=E-G (GJ)	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	
		数値 D	単位	熱量(GJ) E=D×C	数値 F	単位	熱量(GJ) G=F×C			
非化石燃料	黒液		t			t				
	木材		t			t				
	木質廃材		t			t				
	バイオエタノール		kL			kL				
	バイオディーゼル		kL			kL				
	バイオガス		千m ³			千m ³				
	その他バイオマス		t			t				
	R D F		t			t				
	R P F		t			t				
	廃タイヤ		t			t				
	廃プラスチック(一廃)		t			t				
	廃プラスチック(産廃)		t			t				
	廃油		kL			kL				
	廃棄物ガス		千m ³			千m ³				
	混合廃材		t			t				
	水素		t			t				
	アンモニア		t			t				
	その他の非化石燃料									
小計 ③										

エネルギーの種類				エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			H=D-F (GJ)	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)
				数値 D	単位		数値 F	単位			
熱	他者から購入した熱	産業用蒸気			GJ			GJ			
		産業用以外の蒸気			GJ			GJ			
		温水			GJ			GJ			
		冷水			GJ			GJ			
		その他		GJ			GJ				
	その他使用した熱	地熱			GJ			GJ			
		温泉熱			GJ			GJ			
		太陽熱			GJ			GJ			
		雪氷熱			GJ			GJ			
		その他		GJ			GJ				
小計 ④											
エネルギーの種類				エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			H=D-F (千kWh)	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)
				数値 D	単位		数値 F	単位			
電気	電気事業者からの買電			56819	千kWh			千kWh		56,819	26,364.0
	上記以外の買電	オフサイト型PPA			千kWh			千kWh			
		自己託送(非燃料由来の非化石電気)			千kWh			千kWh			
		上記以外の自己託送			千kWh			千kWh			
		その他		千kWh			千kWh				
	自家発電	太陽光			千kWh			千kWh			
		風力			千kWh			千kWh			
		地熱			千kWh			千kWh			
		水力			千kWh			千kWh			
		その他(非燃料由来の非化石)			千kWh			千kWh			
		その他		千kWh			千kWh				
小計 ⑤											
合計 (t-CO ₂) ⑥=①+②+③+④+⑤											
26,368.8											

電気事業者・排出係数(t-CO₂/kWh) : 四国電力株式会社 0.000464

【別表 6】

(令和 6 年度)

事業所名 アオイ電子株式会社 観音寺工場

エネルギーの種類		エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			H=E-G (GJ)	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	
		数値 D	単位	熱量(GJ) E=D×C	数値 F	単位	熱量(GJ) G=F×C			
化石燃料	原油（コンデンセートを除く）			kL			kL			
	原油のうちコンデンセート（NGL）			kL			kL			
	揮発油（ガソリン）			kL			kL			
	ナフサ			kL			kL			
	ジェット燃料			kL			kL			
	灯油			kL			kL			
	軽油			kL			kL			
	A重油			kL			kL			
	B・C重油			kL			kL			
	石油アスファルト			t			t			
	石油コークス			t			t			
	石油ガス	液化石油ガス（LPG）	0.8607	t	43		t		43	2.6
		石油系炭化水素ガス		千m ³			千m ³			
	可燃性天然ガス	液化天然ガス（LNG）		t			t			
		その他可燃性天然ガス		千m ³			千m ³			
	石炭	輸入原料炭		t			t			
		コークス用原料炭		t			t			
		吹込用原料炭		t			t			
		輸入一般炭		t			t			
		国産一般炭		t			t			
		輸入無煙炭		t			t			
	石炭コークス			t			t			
	コールタール			t			t			
	コークス炉ガス			千m ³			千m ³			
	高炉ガス			千m ³			千m ³			
	発電用高炉ガス			千m ³			千m ³			
	転炉ガス			千m ³			千m ³			
	その他の燃料									
小計 ①									2.6	
		エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			H=D-F (千m ³)	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	
		数値 D	単位		数値 F	単位				
都市ガス			千m ³			千m ³				
小計 ②										
		エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			H=E-G (GJ)	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	
		数値 D	単位	熱量(GJ) E=D×C	数値 F	単位	熱量(GJ) G=F×C			
非化石燃料	黒液			t			t			
	木材			t			t			
	木質廃材			t			t			
	バイオエタノール			kL			kL			
	バイオディーゼル			kL			kL			
	バイオガス			千m ³			千m ³			
	その他バイオマス			t			t			
	R D F			t			t			
	R P F			t			t			
	廃タイヤ			t			t			
	廃プラスチック（一廃）			t			t			
	廃プラスチック（産廃）			t			t			
	廃油			kL			kL			
	廃棄物ガス			千m ³			千m ³			
	混合廃材			t			t			
	水素			t			t			
	アンモニア			t			t			
	その他の非化石燃料									
	小計 ③									

エネルギーの種類			エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			H=D-F (GJ)	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)
			数値 D	単位		数値 F	単位			
熱	他者から購入した熱	産業用蒸気		GJ			GJ			
		産業用以外の蒸気		GJ			GJ			
		温水		GJ			GJ			
		冷水		GJ			GJ			
		その他		GJ			GJ			
	その他使用した熱	地熱		GJ			GJ			
		温泉熱		GJ			GJ			
		太陽熱		GJ			GJ			
		雪氷熱		GJ			GJ			
		その他		GJ			GJ			
小計 ④										
エネルギーの種類			エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			H=D-F (千kWh)	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)
			数値 D	単位		数値 F	単位			
電気	電気事業者からの買電		12341	千kWh			千kWh		12,341	5,726.2
	上記以外の買電	オフサイト型PPA		千kWh			千kWh			
		自己託送(非燃料由来の非化石電気)		千kWh			千kWh			
		上記以外の自己託送		千kWh			千kWh			
		その他		千kWh			千kWh			
	自家発電	太陽光		千kWh			千kWh			
		風力		千kWh			千kWh			
		地熱		千kWh			千kWh			
		水力		千kWh			千kWh			
		その他(非燃料由来の非化石)		千kWh			千kWh			
		その他		千kWh			千kWh			
小計 ⑤									5,726.2	
合計 (t-CO ₂) ⑥=①+②+③+④+⑤									5,728.8	

電気事業者・排出係数(t-CO₂/kWh)： 四国電力株式会社 0.000464

【別表 6】

(令和 6 年度)

事業所名 アオイ電子株式会社 朝日町事業所

エネルギーの種類		エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			H=E-G (GJ)	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	
		数値 D	単位	熱量(GJ) E=D×C	数値 F	単位	熱量(GJ) G=F×C			
化石燃料	原油（コンデンセートを除く）		kL			kL				
	原油のうちコンデンセート(NGL)		kL			kL				
	揮発油（ガソリン）		kL			kL				
	ナフサ		kL			kL				
	ジェット燃料		kL			kL				
	灯油		kL			kL				
	軽油		kL			kL				
	A重油		kL			kL				
	B・C重油		kL			kL				
	石油アスファルト		t			t				
	石油コークス		t			t				
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)		t			t			
		石油系炭化水素ガス		千m ³			千m ³			
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t			t			
		その他可燃性天然ガス		千m ³			千m ³			
	石炭	輸入原料炭		t			t			
		コークス用原料炭		t			t			
		吹込用原料炭		t			t			
		輸入一般炭		t			t			
		国産一般炭		t			t			
		輸入無煙炭		t			t			
	石炭コークス		t			t				
	コールタール		t			t				
	コークス炉ガス		千m ³			千m ³				
	高炉ガス		千m ³			千m ³				
	発電用高炉ガス		千m ³			千m ³				
転炉ガス		千m ³			千m ³					
その他の燃料										
小計 ①										
		エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			H=D-F (千m ³)	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	
		数値 D	単位		数値 F	単位				
都市ガス			千m ³			千m ³				
小計 ②										
非化石燃料			エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			H=E-G (GJ)	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)
			数値 D	単位	熱量(GJ) E=D×C	数値 F	単位	熱量(GJ) G=F×C		
	黒液			t			t			
	木材			t			t			
	木質廃材			t			t			
	バイオエタノール			kL			kL			
	バイオディーゼル			kL			kL			
	バイオガス			千m ³			千m ³			
	その他バイオマス			t			t			
	R D F			t			t			
	R P F			t			t			
	廃タイヤ			t			t			
	廃プラスチック(一廃)			t			t			
	廃プラスチック(産廃)			t			t			
	廃油			kL			kL			
	廃棄物ガス			千m ³			千m ³			
	混合廃材			t			t			
	水素			t			t			
	アンモニア			t			t			
	その他の非化石燃料									
小計 ③										

エネルギーの種類				エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			H=D-F (GJ)	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)
				数値 D	単位		数値 F	単位			
熱	他者から購入した熱	産業用蒸気			GJ			GJ			
		産業用以外の蒸気			GJ			GJ			
		温水			GJ			GJ			
		冷水			GJ			GJ			
		その他			GJ			GJ			
	その他使用した熱	地熱			GJ			GJ			
		温泉熱			GJ			GJ			
		太陽熱			GJ			GJ			
		雪氷熱			GJ			GJ			
		その他			GJ			GJ			
小計 ④											
エネルギーの種類				エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			H=D-F (千kWh)	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)
				数値 D	単位		数値 F	単位			
電気	電気事業者からの買電			1866	千kWh			千kWh		1,866	865.8
	上記以外の買電	オフサイト型PPA			千kWh			千kWh			
		自己託送(非燃料由来の非化石電気)			千kWh			千kWh			
		上記以外の自己託送			千kWh			千kWh			
		その他			千kWh			千kWh			
	自家発電	太陽光			千kWh			千kWh			
		風力			千kWh			千kWh			
		地熱			千kWh			千kWh			
		水力			千kWh			千kWh			
		その他(非燃料由来の非化石)			千kWh			千kWh			
		その他			千kWh			千kWh			
	小計 ⑤										865.8
合計 (t-CO ₂) ⑥=①+②+③+④+⑤										865.8	

電気事業者・排出係数(t-CO₂/kWh)： 四国電力株式会社 0.000464

【別表 5】

(令和 6 年度)

事業所名	自動車 エネルギー使用量・台数													
	ガソリン (kL)			軽油 (kL)			LPG (t)			都市ガス (CNG) (千m ³)			その他	
	台数(台)			台数(台)			台数(台)			台数(台)			台数(台)	
	総台数	軽自動車除く		総台数	軽自動車除く		総台数	軽自動車除く		総台数	軽自動車除く		総台数	軽自動車除く
本社・高松工場	10.367	12	12	0.20017	1	1								
観音寺工場	2.307	1	1	8.343	2	2								
合 計	12.67	13	13	8.54	3	3								

エネルギーの種類	エネルギー使用量			単位発熱量		二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)
	数値 A	単位	熱量 (GJ) B=A×C	数値 C	単位	
ガソリン	12.67	kL	423.31	33.4	GJ/kL	29.03
軽油	8.54	kL	324.64	38.0	GJ/kL	22.38
LPG		t		50.1	GJ/t	
				排出係数		
				数値 D	単位	
都市ガス (CNG)		千m ³			t-CO ₂ /千m ³	
合計						51.40

※ LPGの液体密度は、一般に0.50～0.60kg/lですが、デフォルト値として0.56kg/lを用いても構いません。

(数値把握の方法)

- ☒ 燃料法 (直接、燃料使用量を把握する方法) によるもの
☐ 燃費法 (車両の燃費と走行距離により燃料使用量を把握する方法) によるもの
☐ その他の方法 ()

集計表

区分	令和 6 年度 (t-CO ₂)
エネルギー起源二酸化炭素の排出量 (別表 2 又は別表 6)	32,963
自動車の使用に伴って発生する二酸化炭素の排出量 (別表 5)	51
エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出量	22
エネルギー起源二酸化炭素以外の二酸化炭素	0.259
ハイドロフルオロカーボン	22.484
六ふっ化硫黄	0.119
メタン	0.016
一酸化二窒素	0.0029
合計	33,036

(別紙2)

エネルギー使用合理化計画（アオイ電子株式会社）

番号	計画内容	計画年度			対象事業所			備 考
		令和5年度	令和6年度	令和7年度	本社・高松工場	観音寺工場	朝日町事業所	
1	空気調和設備の更新	○	○	○	○	○		3年計画
2	照明設備の更新	○	○	○	○	○		3年計画
3	空気圧縮機の更新	○	○	○	○	○		3年計画
4	真空作成法の変更	○	○	○	○			3年計画
5	配管圧損の改善による空気圧縮機の軸動力削減	○	○	○	○			3年計画
6	圧空の露点制御の見直し	○	○	○	○			3年計画
7	エアブローのブロワー化	○	○	○	○			3年計画
8	装置排気の見直しによるヒーター負荷の低減	○	○	○	○			3年計画
9	生産設備用モニタの更新	○	○	○	○	○		3年計画
10	空気圧縮機の給気設備へ気化熱式装置設置による空気圧縮機の運転効率向上	○	○	○	○			3年計画
11	変圧器の更新	○	○	○		○		3年計画
12	防災排煙窓への遮熱塗料の塗布	○	○	○	○			3年計画
13	空気圧縮機の台数制御システムの更新	○	○	○	○			3年計画
14	変圧器の無負荷損の低減	○	○	○		○		3年計画

注、上表の記号○は計画の対象年度を表す。

ただし、長期計画の項目については、単年度または複数年度での実施については未定です。